

2020年10月28日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(東証JASDAQ: 4316)

問合せ先: 取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日に発表した2020年3月期決算短信におきまして、2021年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を未定としておりましたが、2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきまして下記のとおりお知らせいたします。

なお、通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の大幅な縮小による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、通期業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	573	△43	△53	△53	△16円42銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	673	51	61	51	16円05銭

2. 修正理由

現時点における決算集計並びに事業進捗状況等を踏まえて、第2四半期連結累計期間(以下「中間期」)の連結業績予想を修正するものであります。

当中間期におきましては、全ての事業分野において前年同期比で減収減益となる見込みです。特に、モビリティ・イノベーション事業が対象とする鉄道をはじめとした交通事業者、ソリューション事業が対象とする流通事業者においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動縮小の直撃を受け、IT投資・広告宣伝活動を先延ばしにする傾向が見られ、当社グループはその影響を受けました。ワイヤレス・イノベーション事業は堅調に推移しましたが、前期第2四半期において大型の構築案件を計上した反動で減収減益となる見込みです。また、当6月に第13回新株予約権に係る費用計上(31百万円)を行ったことにより販売費お

よび一般管理費が増額し、発行時において意図していた事業規模拡大に伴いこれを吸収する目論見が外れる見通しです。更に、持分法適用会社である株式会社MMSマーケティングが事業活動の大幅な縮小を余儀なくされたことにより、持分法による投資損失を計上し、経常損失が増額する見通しです。

3. 今後の見通し

通期の業績予想につきましては、未定とさせていただきますが、今後、算定が可能となった場合は速やかに発表させていただきます。

現時点においては、今後徐々に経済活動の回復に伴い、当社グループの事業環境も好転することを期待しておりますが、第3四半期は引き続き苦戦が見込まれており、第4四半期を中心にワイヤレス・イノベーション事業での構築案件が続いていることを踏まえ、ソリューション事業での02020事業・MMS事業の回復と、モビリティ・イノベーション事業におけるMaaS関連投資の受注に重点を置き、ワイヤレス・イノベーション事業の上積みに取り組むことで、4期連続での黒字計上を目指します。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 2021年3月期第2四半期決算短信につきましては、2020年11月5日に発表する予定です。

以 上